

**職員等の給与減額条例など  
一二議案を可決、承認**

6月定例会は、6月3日から始まり、6月21日まで19日間の会期で開かれました。

議長の選挙、各常任委員、議会運営委員の選任を行い、正副委員長が決まりました。市長から、市長、副市長、教育長及び職員の給与を臨時的に削減する条例など、議案八件、承認三件が提出され、それぞれ原案どおり可決、承認しました。

また、発議案が一件提出され、原案どおり可決しました。

一般質問は、一〇人の議員が行い、市の諸問題について見解を求めました。

## 新学校給食センター 完成イメージ



**学校給食センター施設統合事業**  
老朽化した既存の第一、第二調理場を統合し、新しい給食センターを建設するための工事費等の一部が一般会計補正予算に計上されました。  
現在の第二調理場の隣地に建設され、稼働は平成 26 年 9 月の予定です。

※細部については変更が予想されます

## 議会の動き

6月3日 ◎開会、○承認第1～3号 説明・質疑・討論・採決、○議案第1～8号 説明、○議長の選挙、○議会運営委員の選任、○常任委員の選任

6月6日 ○一般質問 (4人)

6月7日 ○一般質問 (4人)

6月10日 ○一般質問 (2人)、◇新保健センター等建設特別委員会 (20日)

6月12日 ◇文教厚生常任委員会  
6月13日 ◇総務建設常任委員会  
6月17日 ◇議会改革特別委員会  
6月21日 ○議案第1～8号 委員長報告・  
質疑・討論・採決、○総務建設常任委員会  
の閉会中の継続審査の件、○発議案第1号  
説明・質疑・討論・採決、◎閉会

[illegible]

## 議 案 の 内 容

**承認 1～3** 国等の上位法令が改正されたことにより、緊急を要したため条例の一部改正について専決処分したことの承認を求めるもの

議 案  
1 国家公務員の給与減額支給措置に準じて、平成 25 年 7 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの期間、臨時的に市長、副市長、教育長及び職員の給料を減額するもの

**議案 2** 国等の上位法令が改正されたことにより、条例の改正を行うもの

**議 案 3** 公益社団法人印旛市郡医師会の名称変更に対応するため、条例の改正を行うもの

**議案 4** 国等の上位法令が改正されたことにより、条例の改正を行うもの

**議案 5** 歳入歳出それぞれ2億2,789万6千円を追加し、総額を140億2,989万6千円とするもの

議 案  
6 歳入歳出それぞれ 566 万 7 千円を減額し、総額を 8 億 2,702 万 9 千円とするもの

議 案 7 歳入歳出それぞれ 51 万円を減額し、総額を 21 億 2,894 万円とするもの

**議案 8** 収益的支出は、営業費用を 32 万 7 千円減額、資本的支出は、建設改良費を 126 万 9 千円減額するもの

**発議案 1** 橋下徹大阪市長に対し、人間の尊厳を否定する発言を反省し、撤回することを求めるもの

# 議会の構成が変わりました

ごあいさつ



議長 鈴木英吉

このたび6月3日の定例会におきまして、議員の皆様への推挙をいただき第二十七代富里市議会議員に選出されました。

現在、富里市では、学校給食センター施設統合事業、新保健センター等建設事業と予算規模で合わせて約三〇億円以上の二大事業を抱えています。さらに、既存の維持補修費、民生費の増加が見込まれる中、将来の人口減少に伴う市税の減収も予測されることから、予算や施策等に多くの検討課題を抱えています。これらの課題に議会が一丸となって取り組むため、議会のまとめ役という議長の重責を果たしてまいります。また、全議員が対等な立場で自由に討論し、よりよい意見に導く場を設けるなど、さらなる改革を進めてまいります。

議会としても、これからの子供や孫たちの世代が安心して住めるまちづくりを実現するためにも、今後市民の皆様との情報交換がより必要と考えていますので、御協力を心よりお願いいたします。

## 議員表彰

在職 20 年以上として特別表彰

柏崎のり子議員

在職 10 年以上として表彰

吉枝好議員  
英益優  
木橋井  
鈴木櫻

長年にわたり市政の振興に努められました功績により、全国市議会議長会から表彰され、6月3日の本会議場において表彰状が伝達されました。

## 決議書を提出

◆橋下徹大阪市長に対し人間の尊厳を冒瀆する発言の撤回を求める決議  
(提出先) 橋下徹大阪市長

## 各委員会の構成



(左から) 井上 康 原 清一 布川好夫 栗原恒治

議会運営委員会  
委員長 原 清一  
副委員長 布川好夫



(後列左から) 猪狩一郎 井上 康 江原利勝 栗原恒治 原 清一  
(前列左から) 柏崎のり子 佐藤繁夫 五十嵐博文 鈴木英吉

総務建設常任委員会  
委員長 佐藤繁夫  
副委員長 五十嵐博文



(後列左から) 布川好夫 岡野耕平 田口勝一 戸村喜一郎 高橋祐子  
(前列左から) 櫻井優好 大川原きみ子 窪田 優 高橋益枝

文教厚生常任委員会  
委員長 大川原きみ子  
副委員長 窪田 優

印旛衛生施設管理組合  
議会議員選挙  
佐藤繁夫議員

千葉県後期高齢者医療  
広域連合議会議員選挙  
鈴木英吉議員

## 一般質問

質の  
は身よす  
文自身に  
本者稿も  
※問原も

### 通告項目

- 高橋祐子  
(1)福祉施策について  
(2)学校給食について  
(3)学校通学路について
- 田口勝一  
(1)負担付き寄附を受けた市有地の活用方法について  
(2)文化財の活用について  
(3)市内道路の安全対策について
- 布川好夫  
(1)教育行政について  
(2)庁舎施設改修事業について  
(3)環境行政について  
(4)福祉行政について
- 井上 康  
(1)業務システムのクラウド・サービスへの移行について  
(2)安心・安全なまちづくりへの施策について
- 岡野耕平  
(1)防災計画について

- (2)防犯灯について  
(3)給食センターについて

大川原きみ子

- (1)子育て支援について  
(2)胃がん検診について  
(3)富里市支線交通について  
(4)自転車交通安全教室について  
(5)富里特別支援学校について
- 五十嵐博文  
(1)農業施策について  
(2)環境施策について  
(3)地域活性化策について
- 高橋益枝  
(1)オレンジプランについて  
(2)土曜日授業について  
(3)道徳教育の教科化について  
(4)小中一貫教育について
- 窪田 優  
(1)地域公共交通実証実験について  
(2)富里市の持続可能なまちづくりはどのように考えるか。
- 柏崎のり子  
(1)児童福祉について  
(2)高齢者の災害予防対策について  
(3)道路及び駅利用の安全対策について  
(4)議会放送について

高橋祐子

問 学校給食の残菜率が高い現状について



答 重大な問題と認識し、努力してまいります

問 全国平均四・八％に対し、富里市の給食残菜率は約二四％と非常に高い。教育委員会は近隣他市や全国平均も把握していない上、目標設定が二〇％というのは認識が甘いのではありませんか。

答 とりえず目標は二〇％、その後は一〇％台になるよう努力してまいります。

問 残菜が多く出る要因について、子供たちへアンケートなど実態調査を行い、改善策や工夫を講ずるべきでは。

答 議員から意見をいただいたので、検討してまいります。

### 『通学路緊急合同点検について』

問 この調査結果を県下七割の自治体がHP等で広く公表している中、富里市は公表していない。国交省の調査主旨は、危険箇所の情報を広く地域で共有し安全対策に努めるためであるとし、公表を求めている。本市もHP上で広く公表していただきたい。

答 検討してまいります。

### 『災害時要援護者名簿と個別計画について』

問 全体の対象者五、〇〇〇人に対し、現行で登録は八一人。市は五、〇〇〇人のうち要援護者登録に緊急性が高い方を何人と捉えているのか。

答 重度の障害者約六〇〇人、介護度の重い方約三〇〇人を想定しています。

問 登録する緊急性が高い方々については、条例を制定する手法も考慮すべきでは。

答 国県の動向を注視しながら名簿の作成を急いでまいりたいと思います。

田口勝一

問 岩崎別邸隣接地に農産物販売所やレストランを



答 市長部局主導のもと検討してまいります

『負担付き寄附を受けた市有地の活用方法について』

問 旧岩崎久彌末廣別邸と、別邸隣接地を活用して、産業・観光振興に役立つ、農産物販売所やレストランをつくる考えはないか。

答 別邸敷地については、歴史公園として整備予定ですので、観光振興の一助になると考えます。別邸隣接地にガイダンス施設・農産物販売所やレストランの併設につきましては、市長部局主導のもと、検討してまいります。

### 『文化財の活用について』

問 今年4月に寄附申し出があった藤崎牧士史料館所蔵品や、現在市で所有している文化財を、ガイダンス施設に合わせて展示してはどうか。

答 今後、関係部門で検討してまいります。

### 『市内道路の安全対策について』

問 緊急合同通学路点検で指摘された、通学路の安全対策を優先させるべきではないか。

答 指摘があった三八カ所のうち、昨年度に七カ所を実施済みで、今年度一二カ所を実施する予定です。



岩崎別邸と隣接地の位置関係

布川好夫

**問** 新給食センターに太陽光発電システムの採用は



**答** 費用対効果がないので当初は導入しません

**『庁舎施設改修事業について』**

**問** エレベーター設置計画について。

**答** 本庁舎の耐震補強改修工事に合わせ、エレベーターの設置を初めとしたバリアフリー改修を行います。車椅子などを利用される方の正面玄関からの動線の確保など、バリアフリー化の推進に努めます。

**『環境行政について』**

**問** 小型家電リサイクル法施行について、本市の取り組みとリサイクルセンターとの整合性について。

**答** 小型家電リサイクル法は、使用済み小型電子機器などに含まれるアルミ、貴金属、レアメタルなどの希少資源が確保できること、再利用が資源循環型社会の構築に大変重要であること、また、廃棄物の適正処理の確保を図る必要があることから、具体的な取り組みについて検討します。今年度から二カ年計画で一般廃棄物処理基本計画の見直し作業を実施する予定であり、その中でリサイクルセンターの施設規模などを検討し、小型家電リサイクル法制度を反映させた分別・収集体制の見直しもあわせて実施します。

**『福祉行政について』**

**問** 高齢者見守り緊急通報システムについて。

**答** 高齢化の進行に伴いまして、一人暮らし高齢者の数も増加していくものと捉えており、市民の皆様の見守りを目的として実施しています。利用者からは、より利用しやすい制度への見直しを求める御意見があることから、多様化する市民ニーズに沿った見直しに取り組んでいます。

井上 康

**問** 安心安全なまちづくりへの施策は



**答** 平成26年度を目標に条例を定め推進します

**『基幹システムのクラウド化について』**

**問** 市の業務システムがクラウド・サーバーへ移行しますが、スケジュールは。

**答** 本年10月に本格稼働する予定です。

**問** クラウド化の利点は。

**答** システム本体を市役所外の安全な環境に設置するため、災害時に強いことです。  
**問** クラウド化の最大の価値は経費の削減です。複数の自治体で共同運用する仕組みを採用すれば、開発費や維持管理費が割り勘となり、安くなります。

以前から提言してきました。今回なぜ共同運用ができなかったのですか。

**答** 共同化するには、自治体間での調整に時間を要します。今後検討します。

**問** 情報通信技術の活用は、自治体運営の中で重みを増してきます。庁内担当部署の人材育成が大事です。また外部専門家の助言を得る仕組みも欠かせません。

**答** 今後は専門的な知識を要する事項などについては、外部委託するなど、組織的な対応策を検討していきます。

**『安心安全なまちへ。連携と協力が鍵』**

**問** 安心安全なまちづくりを推進するために、市と市民と各種防犯組織の相互の役割や責任分担などを明文化し、協力関係や連携体制を強くしていくことが大切ではないですか。

**答** 確かに現在、相互の関係を明記したものがありません。それぞれの役割や連携のあり方についてのルールづくりが必要だと考えます。平成26年度を目標に条例として定め、あわせて協議会の設置も考えていきます。

岡野耕平

**問** 防災計画について



**答** 今年度、富里市地域防災計画の修正を行います

**問** 市としてはどのような災害を認識しているか。

**答** 地震災害、台風などの風水害、大規模火災や航空機災害等を想定しています。

**問** 市役所内での防災訓練は行っているか。  
**答** 防災・防犯メールを活用し、全職員を対象とした配信・受信確認訓練をし、第二配備職員を対象とした非常参集訓練を5月22日に実施しました。

**問** 庁舎の仮設発電機等の設置はどうなっていますか。

**答** 防災行政無線や県との防災システムは、停電時でも対応できるが、災害対策本部を設置する場合は、消防本部の庁舎に設置します。新保健センターには非常用発電機を設置します。

**問** 富里市商工業促進協議会と協定を締結しているが、その連携は。

**答** 平成18年に締結を結び6月2日には災害時の連絡体制確認のため、情報伝達訓練を実施しました。

**問** 防犯灯の設置状況と経費は。

**答** 市の管理分は一、八〇〇灯、区・自治会分は三、三〇〇灯で、電気料・修繕・設置費・補助金は約一、四一〇万円です。

**問** 他市ではLED防犯灯にして設置している例がありますが、富里市の計画は。

**答** リースにしている市もあるが、財政状況等を考え引き続き研究をしていきます。

**問** 給食センターの基本コンセプトは。

**答** 衛生管理のすぐれた、食育の発信できる、効率のよい物を考えています。  
**問** 基本設計発注時の基本計画は。  
**答** 基本計画書のようなものではありません。

大川原きみ子

**問** 待機児童対策について



**答** 子ども・子育て支援事業計画を策定し進めます

**問** 待機児童の現状について。

**答** ゼロ歳児から五歳児までの就学児童二、三九名に対し待機児童数は国基準で一五名です。次に保育所入所申し込み数五八五件就学前児童数の二四・八％です。保育所定員五五〇名・入所数は五五三名です。

**問** 待機児童ゼロに向け、市として具体的なプランや対策を立て取り組まれたか。

**答** 次世代育成支援行動計画研究班等の中で議論し、対策に取り組んでいます。

**問** 国は平成29年度待機児童ゼロを目指すとしていますが、将来を見据えた待機児童対策、整備についてお伺いします。

**答** 子ども・子育て支援事業計画策定に向け本年ニーズ調査を行い27年度から地域の実情にに応じ、多様な子育て支援を本格的スタートできるよう進めてまいります。

**問** 横浜市や千葉市のような子育てコンシエルジュを市も取り入れ子育て支援の充実を図ることについてお伺いします。

**答** 検討してまいります。

**問** 子ども館として、新保健センター建設後の現在の保健センター施設を利用した設置についてお伺いします。

**答** 関係部門を中心に組織を立ち上げ検討します。



(資料)とみさと子育て応援ブック 待機児童ゼロを！

五十嵐博文

**問** 根拠を整理し、組織をもつて積み上げるべき



**答** 議員の意見を参考に、進めていきます

**『農業施策について』**

**問** 一つの施策の実施は、関係すべき者が関係すべき範囲を取り組むことで一つになる。関係者の責任範囲の明確化も含め、産業振興条例が必要。条例化に向けた策定作業は着手されたか。

**答** 商工業は、平成24年度に目標を掲げていますが、農業は、組織の部分等で意見集約が遅れ、一年程度遅れると思います。

**『環境施策について』**

**問** 太陽光発電の一〇kW以上は買取期間が二〇年であり、まちづくりに大きく関連する。「国・県の推進施策だから」ではなく、市が「どう推進するか・どう受け入れていくか」が重要。状況に耐え得るため、地球温暖化防止実行計画の推進体制により対応すべき。

**答** 今後検討の必要があります。

**『地域活性化について』**

**問** 道の駅は、地域の産業振興と交流拠点となり、歴史保存物との共存と、富里・酒々井両インターの共存方策の役割も果たし、新たな観光ルートとして期待ができる。これらを念頭に、提言書で伝えた」と解釈していたがどうか。

**答** 議員の意見参考に、ふれあい拠点として整備していきたいと考えます。

| 道の駅開発事業費（概算値） | 平屋建て和風建ち 水産物組立置き |                     |
|---------------|------------------|---------------------|
|               | 名 称              | 材費・寸法 金 額           |
| 道の駅開発事業費（概算値） | 店舗（特産品等）         | 140㎡ 31,114,160円    |
|               | 販売所              | 250㎡ 54,954,000円    |
|               | 飲食施設（厨房含む）       | 250㎡ 68,845,000円    |
|               | トイレ              | 100㎡ 26,012,000円    |
|               | 情報施設等            | 200㎡ 44,973,000円    |
|               | 空調・電気等           | — 9,180,000円        |
|               | 駐車場・緑地           | 7,000㎡ 56,180,000円  |
|               | 合 計              | 7,940㎡ 291,258,160円 |
|               | 集客数（レジャー客等）      | 412,815人/年          |
|               | 売上金額             | 619,635千円/年         |
| 費用対効果         | 損益の推移（営業利益）      | 21,812千円/年          |
|               | 経済波及効果           | 241,657千円/年         |

私見による道の駅効果算出

高橋益枝

問
 土曜日授業について



答
 本市においては実施しておりません

問
 実施状況については。

答
 土曜日授業を実施している学校はございません。

問
 授業時数の増加の対応については。

答
 それぞれの学校で行事を精選したり、夏休みを短縮したりして授業時間の確保に努めております。

問
 導入の検討については。

答
 既に実施している自治体の事例を研究してまいります。

問
 先生への負担については。

答
 既に土曜日授業を実施している自治体では、平日の授業時間の一部を土曜日に振りかえたとはいえ、生徒指導等の対応のために負担軽減につながらず、土曜日の授業がふえた分、かえって多忙感が増しているという状況が見られるとのこと。

『オレンジプランについて』

問
 認知症施策推進五カ年計画、いわゆるオレンジプランについてですが、認知症ケアパス（状態に応じた適切なサービス提供の流れ）の作成・普及については。

答
 県において、本年度中に「千葉県版標準パス」を作成する予定ですので、こうした取り組みを見きわめながら方向性を決定してまいります。

問
 認知症カフェについては。

答
 国では、認知症の方とその家族・地域住民や専門職など、誰もが参加でき、集う場の創設を目指しています。市は、本年度からの取り組みとして「高齢者コミュニティ形成事業」において、認知症の方々を含めた形式を期待しています。

窪田 優

問
 地域公共交通、未利用者の意見聴取は可能か



答
 利用者、登録者等のアンケートを実施します

問
 四月から始まった実証実験ですが市民の反応はありましたか。

答
 主な意見は、ダイヤ設定に関する事、乗り継ぎに関する事、乗降所の増設、ドア・ツードアに関する事。

問
 不満点では利用者登録をしなければ乗れない。バス停まで遠い。近くにバス停を設けて等がありました。

問
 富里市の自動車保有率は高いと思います。さとバス（オンデマンド）に頼らなければならぬのはどんな方ですか。

答
 高齢者、障害者の方々だと思います。

問
 地域公共交通、市が考える到達点と今後、高齢化進行の中で便利な移動手段を期待される一般市民。介護認定も受けず頑張る方、免許返納者の方々の期待に応えられるかが問われます。

問
 私がかねてから提案している南相馬市小高区のオンデマンドタクシーの方式に向けて市は努力していただきたい。

答
 議員の言うこともわかりますが公共交通を利用する全ての方が満足することは難しいと考えています。そのための実証運行なので御理解をお願いします。

問
 相応のコストはかかります、タクシーほど高いのは困る。しかし、受益と負担について検証が必要です。それまでの間の市の責任は、みずから実施者になる必要はないが、地域ごとに助け合える人間関係をつくってもらえるように働きかける努力はできますか。

答
 地域ごとに助け合える人間関係。それはわかります。

柏崎のり子

問
 国による民間児童館活動の補助金廃止について



答
 新たな補助制度を活用し引き続き支援します

問
 国における「民間児童館活動事業」等に対する財政支援が廃止されました。本市には民間の若草児童館があり、その役割は大変大きいと考えます。国の補助金が廃止されたことで運営に困難が生じてはなりません。今後の具体的な財政支援について伺います。

答
 千葉県唯一の民間児童館であり事業者に対し今後は新たな補助制度を活用し安定した運営が図れるよう支援します。

問
 何を基準に財政支援するのですか。

答
 学童クラブの放課後児童健全育成事業をもとに支援を考えています。民間事業者へ委託する形式を考えています。

問
 補助金交付要綱のあり方と支援の見直し案について伺います。

答
 補助金から委託へ切りかえるので、当該要綱を廃止し新たに委託契約を締結することになります。今後の見直し案について、放課後児童健全育成事業実施業務委託事業として、指導員一名分の年間報償費相当額を財政支援に考えています。

問
 財政支援見直しによる財源確保は。

答
 委託事業に切りかえた場合は委託料の三分の二について千葉県放課後児童健全育成事業補助金を財源として考えています。

問
 国が新たに策定する児童福祉法三四条は「児童の身体・精神・社会的発達のため」の設備・運営基準を求めています。したがって障害を持った子の居場所にもなります。国は補助金を増額し受け入れ枠拡大にも活用できるとしています。

答
 実態等を踏まえ検討します。

常任委員会の審査から

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会で審査された議案の中から議案第一号について、御報告いたします。議案第一号 富里市職員等の給与の臨時特例に関する条例の制定について、給与削減による歳出一億一、五〇〇万円の減額の使途について、防災・減災事業や地域の活性化に係る事業のほか、基金に積むなどの考えはあるかとの質問があり、今回歳入で交付税九、〇〇〇万円の減額がある。防災・減災事業などは、今後実施を考えると、基金には積み込み、との説明でした。

また、今回の国からの要請については、異議があるところではあるが、地方交付税の減額による市行政サービスへの影響などを考慮し、苦渋の決断により実施するもの、との説明でした。慎重に審査した結果、付託された六議案は全て可決しました。

（委員長 佐藤 繁夫）

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会で審査された議案の中から議案第五号について、御報告いたします。議案第五号 一般会計補正予算は、人件費の減額計上のほか、予防事業での風疹ワクチンの助成については、四月十九件、五月四〇件が申請されたとのこと、介護保険線出事業で要支援認定者数の推移の質疑に対して、平成25年5月二三三名で、今後もますます増える傾向との説明がありました。

学校教育指導事業で、市内小中学校でのバックアップサービスの整備理由と、セキュリティ改善方策についての質疑があり、市内一校中二校は整備済み、三校は既存を活用、二校は当初予算で対応済み、残り四校について至急整備をするため補正で計上したとの説明でした。慎重に審査した結果、付託された三議案は全て可決しました。

（委員長 大川原 きみ子）

議会を傍聴しませんか

9月定例会は8月29日(木)から開会予定です。

※詳しい日程などは議会事務局にお問い合わせください。  
 ※本会議の様子は市民課ロビー（市庁舎一階）のテレビやインターネットでもご覧いただくことができます。  
 ※9月定例会で審議される請願（陳情）書の提出期限は、平成25年8月21日（水）午後5時です。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど、皆様のご意見をお待ちしております。また、議会報は市議会ホームページでもご覧いただくことができます。

〒286-0292 富里市七栄652-1 議会事務局  
 TEL. 0476-93-6492 FAX. 0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス

<http://www.city.tomisato.lg.jp/category/2-3-0-0-0.html>

編集後記

今回の6月議会において、「橋下徹大阪市長に対し人間の尊厳を冒瀆する発言の撤回を求める決議」書を女性議員四名の連名で、議員発議として提出しました。女性の人権をじゅうりんした発言は、許されるものではありません。本会議の最終日において賛成全員にて可決されました。富里市議会として、橋下徹大阪市長に速やかに提出されました。

また、議会報編集特別委員会は、今年度から数名の委員がかわり、新体制で編集に取り組んでいます。議会の情報をお伝えする唯一の情報紙として、十分な検討議論を通して編集に携わってまいります。

委員の方々のこれまで培ってきた知識・経験を踏まえ、意見を出し合いながらよりよい議論をし、紙面に反映されるよう努力したいと思っています。

市民の皆様にご覧いただき、読んでみたいと思われような議会報を目指し励んでいます。

（委員長 高橋益枝 記）